



県保衛連


県連HP

第29号

発行日 令和7年3月31日
発行者 富山県環境保健衛生連合会 会長 五十嵐 務

題字 五十嵐 務

第69回 富山県環境保健衛生大会



歓迎レセプション セリオラ クインテット



会長挨拶



県知事表彰



県連会長表彰



会長感謝状



小中学生 ポスター・壁新聞表彰

第69回富山県環境保健衛生大会開く

「環境にやさしく 健康は生活習慣から」をスローガンに富山県環境保健衛生大会が、令和6年11月16日（土）午後1時15分より氷見市の氷見市芸術文化館ホールで開催された。

初めに五十嵐富山県環境保健衛生連合会長の開会の挨拶（別掲）があった。続いて富山県知事（知事代理・有賀玲子厚生部長）の挨拶があり、次に地元開催市である菊地正寛氷見市長から歓迎の挨拶があった。

表彰式では、県知事表彰（厚生部門功労）として、永年環境保健衛生に尽力された個人4氏と1団体の表彰があった。

次いで環境保健衛生連合会長表彰として、個人の部20名、団体の部で7団体の表彰があった。また永年に亘り連合会の役員を務められた4氏に感謝状が贈られた。

小中学生から応募のあった「地球温暖化防止活動に関する優秀壁新聞・ポスター」の部では、壁新聞の部で6名の小学生、ポスターの部で15名の小・中学生の表彰があった。

表彰式の最後に受賞者を代表して氷見市の放生寛治氏の謝辞があった。

次に来賓から山本徹富山県議会議長（議長代理・井上県議会議長）、積良岳氷見市議会議長の祝辞があった。

休憩をはさんで、「健康長寿と幸福長寿 鍵は『フレイル予防』」生きがいを持って住民同士でも助け合えるまちを目指して」と題して、東京大学 高齢社会総合研究機構機構長であり未来ビジョン研究センター教授飯島勝矢氏の講演があった。

続いて「海洋環境の回復・地域活性化・商品化をめざして」地球にやさしいウニとやさしいクルプロジェクト」と題して富山県立氷見高等学校から活動発表があった。

次に大会宣言案が氷見市環境保健衛生協会林千昭副会長から読み上げ提案があり、満場一致で採択された。終わりに田中賢次氷見市環境保健衛生協会会長から閉会の挨拶があり散会した。

なお、次年度の開催は富山市となった。



菊地氷見市長



有賀厚生部長

「五十嵐会長挨拶」要旨

1月1日の能登半島地震により、県内各地で多大な被害が発生いたしました。このような中、最も被害の大きかった氷見市におかれては、未だ復興の最中にある中、開催準備をして頂きましたこと、お礼申し上げます。県連合会では、今年度の新規事項として、カーボンニュートラルの実現に向け、家庭での取組みを推進する「デコ活」の啓発に取り組みことといたしました。「デコ活」とは、平成22年10月に環境省が提唱した「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称で、昨年7月に発表された新しい言葉です。

家庭でできる取組みとして、クールビズ、節水、地産地消、食べきり、ごみの分別・削減、LED電球や省エネ家電の使用などが例としてあげられております。この例の多くは、私たちがSDGsの推進として取り組んできたものです。改めて、デコ活を知り、家庭で貢献できる取組みを周知し、デコ活を推進して行きたいと思っております。

保健衛生の面では、生活習慣病の予防、健康寿命の延伸を掲げております。令和2年度より、重点事項に「人生100年時代に向けて」、「フレイル予防」の推進を掲げ、取組みを進めてきております。

本日、フレイル対策の第一人者でいらつしやる飯島勝矢先生から「フレイル予防」に関するご講演があります。貴重なご講演をお聞きし、是非、今後の市町村の活動に生かしていきたいと思っております。

【講演】

健康長寿と幸福長寿 鍵は『フレイル予防』

「生きがいを持って」

住民同士でも助け合えるまちを目指して

医師 医学博士 東京大学 高齢社会総合研究機構 機構長 未来ビジョン研究センター教授 飯島 勝矢氏

はじめに 果敢にタツクルするラガー、プチ就労（農業）で品種改良に取り組み男性、特に運動もしていないが穏やかな笑顔の93歳の女性などアクティブシニアの紹介からはじまる。フレイル予防には、どういう気持ちで、何をやっているか「が大切であるという。

1. フレイルの概念

この時期は要介護の危険度が高いが、まだ戻せる（可逆性）。しかし、多面的要因による負の連鎖が自立度を低下させることにもなる。

※多面的要因とは

- ・ 社会的フレイル… 独居 経済的困窮 孤食 人とのつながりの欠如等
- ・ 心理的・ 認知的フレイル… うつ 認知機能低下等
- ・ 身体的フレイル… ロコモティブ シンドローム サルコペニア等

健康長寿を提唱してきたが、「予防意識を高めることができたのか?」「幸福度（ウェルビーイング）はどうであったか?」との観点から話はすめられた。

2. 「身体的フレイル」と「フレイルの社会的側面」との併存によるリスク

「身体的フレイル」は運動だけ、栄養を取るだけでなく両方やつてはじめて予防できるものだ。それ以上に「フレイルの社会的側面」に重要なリスクが潜むことについてデータを示しながら説明された。社会的側面のアンケート項目として、次の3点が挙げられている。

- ・ 閉じこもり傾向（外出1回/週末未満）
- ・ 家族や友人との付き合いがない
- ・ 体調が悪い時に身近な相談相手がない

3. 健康長寿と幸福長寿（ウェルビーイング）

健康長寿は幸福長寿（ウェルビーイング）でなければならぬ。実際には、両立できていないのではないかと。老いても安心して住み続けられる地域を目指して、住民同士で助け合えるまちづくりが大切である。

【活動発表】

「海洋環境の回復・地域活性化・商品化をめざして」地球にやさしいウニとやさしいクル プロジェクト

1. 廃棄野菜を利用した駆除ウニの商品化

ウニの駆除活動に、地域と協力しながら高校生が取り組んだ。駆除したウニは身入りが悪くおいしくないが、市場に出せないトマトや小松菜を与えて養殖すると、可食部が大きく育つことや、与える野菜によって、ウニの色や風味が異なることがわかる。養殖に最適な条件を探ってウニの商品化、製品化に取り組んでいる。

2. 私たちの高校が目指すもの「地域連携実践型教育」

地域課題の解決に向けて取り組んだウニ駆除活動か



ら、藻場の再生、食品ロス・食品廃棄物削減、地域の特色ある商品・製品の販売へと活動を広げていくことを目指している。

昨年、活動が評価されて日本海北部地区海洋高校生徒研究発表大会で最優秀賞を受賞し、全国大会に出場した。

また、とやま環境ジュニア活動賞を受賞した。

ちなみに、藻場を荒らすウニの商品化に取り組みウニノミクス（東京）が朝日町に大規模な畜産施設を新設し、商業ベースにのせる計画がでている。



表彰

第69回 富山県環境保健衛生大会

日時 令和6年11月16日(土)

会場 氷見市 氷見市芸術文化館ホール

富山県知事表彰(厚生部門功労)

個人 大塚 千代 南砺市環境保健協議会副会長

萩原 勉 舟橋村保健衛生協議会会長

放生 寛治 氷見市環境保健衛生協会副会長

永川 武文 富山市環境保健衛生連合会理事

団体 国吉校下環境保健衛生協議会(高岡市)

県連会長感謝状

前副会長 吉田 裕造 滑川市環境保健衛生協議会

前副会長 田中 賢次 氷見市環境保健衛生協議会

前常任理事 加納 昌之 高岡市環境保健衛生協議会

前常任理事 広嶋 寿雄 立山町環境保健衛生協議会

県連会長表彰

個人 眞田 文夫(富山市) 寺井 正三(富山市)

宝田 隆(富山市) 松本 光男(富山市)

平井 重成(富山市) 澤井 昌美(富山市)

片山 良作(富山市) 里見 正夫(富山市)

大菅 憲一(高岡市) 上野 誠(高岡市)

鈴木 博(高岡市) 宮木 裕子(氷見市)

三輪 恵子(砺波市) 島田久仁子(砺波市)

中島 外美(砺波市) 佐伯美智子(砺波市)

村井 昭子(砺波市) 小林 文雄(南砺市)

岡田三千男(小矢部市) 牧本 雄一(小矢部市)

団体 太田校下環境保健衛生協議会(高岡市)

二塚校下環境保健衛生協議会(高岡市)

木津校区環境保健衛生協議会(高岡市)

氷見市健康づくりボランティア連絡協議会(氷見市)

伊勢大町地区(氷見市)

種田食生活改善推進協議会(砺波市)

泉沢集落(南砺市)

ほのぼのたじりサロン(南砺市)

令和6年度富山県県土美化推進県民会議総会

日時 令和6年4月22日(月)

会場 富山国際会議場

富山県知事表彰環境部門功労(県土美化分野)

石黒 絃一(富山市) 四ツ谷瑞子(富山市)

関口 謙(高岡市)

全国大会表彰

循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰

第68回生活と環境全国大会

日時 令和6年10月31日(木)

会場 神奈川県 神奈川県民ホール

生活環境改善功労者 加納 昌之(高岡市)

浅生 修(魚津市)

得永 榮治(小矢部市)

令和6年度健康専門部会研修会 「となベジプロジェクト」の視察研修会

日時 令和6年8月30日(金) 14時～15時30分

会場 砺波市健康センター イオン砺波店

テーマ 砺波市・砺波市環境保健衛生協議会の「となベジプロジェクト」の取組みを研修し、今後の

連合会、市町村協議会の活動に生かす。

参加人数 15名

講話 「となベジプロジェクト」の取組みについて」
講師 砺波市健康センター 健康増進係 山田美紀 係長

・「となベジプロジェクト」とは、令和元年、砺波市がHbA1cの数値(5.6以上)の割合が増加傾向にあり、

糖尿病予防のため、また、富山県の野菜の摂取量が全

国と比べ70g程少なく、20・30・40代の野菜の摂取量が

少ないことから、「野菜を食べよう! 野菜から食べよう!」を合い言葉に市健康センター並びに協議会が

様々な活動を展開。

・取り組み内容

①チームづくり…仲間を集めてプロジェクトチームをつくる。

②レシピづくり…野菜を使った簡単レシピ、砺波の伝統料理・ブランド野菜を使ったレシピを作成並びに募集。また、集めたレシピをcookpadで公開。

③コミュニケーションの雰囲気づくり…ポスター・リーフレット、旗、スタッフ用被褥等をつくる。

その後、イオン1階に移動し、啓発イベントのベジチェックを使つての「野菜摂取量測定会」を視察し、ベジチェック体験を行った。

砺波市のクックパッド



講義の風景



イオンでベジチェック体験

令和6年度環境専門部会研修会 「とやま環境フェア2024」視察研修会

日時 令和6年10月12・13日(土日)

会場 富山産業展示館テクノホール西館

テーマ 県内最大の環境イベント「とやま環境フェア」並びに県連合会の出展ブース等を視察し、企業・

団体の環境保全活動などの取組みを学び、エコ

ライフの定着・拡大並びに今後の活動に生かす。

参加人数 12名

内容 ①各ブースを視察したり、体験したりする。
②県連合会が出展している「クラフトコーナー」、

「展示コーナー(みんなできれいにせんまいけ

大作戦、児童生徒のボスター等)」、「環境に関

する標語・宣言募集コーナー」の視察、参加。



環境フェアの企業ブース



県連合会のブース

令和6年

環境巡視員研修会(東部)報告

入善沖洋上風力発電施設と
入善町のごみ処理視察研修会

日時 令和6年9月12日(木) 10時～16時
集合 入善まちなか交流施設うるおい館
参加者 県東部地区環境巡視員、市町村協議会、市町村事務局、県事務局 37名

テーマ 「入善のごみ処理とリサイクルについて」
「入善の風力発電事業について」

日程

①講話 「入善町のごみ処理とリサイクルについて」

講師 入善町生活環境課 寺島 貴大主任

資源物の出し方(リサイクル)
・ビン類、缶類、ペットボトル
その他プラスチック製容器包
装、その他紙製容器包装、紙パック、ダンボール、
新聞・雑誌



中央再生広場にて
資源の出し方を見学

②「入善の風力発電事業について」

講師 株式会社ウインド合同会社にて
入善マリンウインドジャパン
開発部サブマネージャー 矢守 悠 様

入善沖海岸に設置された風力発電を視察
その後うるおい館にて風力発電建設のDVD視聴



入善洋上風力発電所は、
入善町沖(横山海岸)
678メートル～938メー
トルに設置され出力3千
キロワット級の風車3基
で、一般家庭約3600世
帯分稼働中。

③新川広域圏事務組合ごみ処理施設「エコポルト」見学



エコポルトとは平成12年
から稼働した燃やせる
ごみの焼却施設。魚津
市、黒部市、入善町、朝
日町のごみを処理して
いる。施設の特徴とし
て、砂でごみを燃やす
流動床燃焼方式を採用
し、公害防止用の有害
ガス除去装置、汚水を
外に出さないクローズ
ドシステム等を備えて
いる。

④新川広域圏事務組合粗大ごみ処理施設「宮沢清掃セ
ンター」
屋内式新最終処分場の見学



新最終処分場
屋根付の最新鋭の最終処
分場で外部への埋立物の飛
散や臭気による環境への悪
影響が無く、雨や雪の天候
にも影響されることも無い
との説明。

ゴミ拾いはスポーツだ!

「第2回スポGOMI in 上市」開催

10月20日(日)、上市町環境保健衛生協会が主催で「ス
ポGOMI in 大会 in 上市」が上市町役場周辺で行われ、
13チーム52人がゴミ拾いに汗を流しました。

「スポGOMI」は、3～5人が1チームとなり、決
められたエリア内で1時間に拾ったごみの種類や量で
ポイントを競います(燃えるごみは100gで20ポイ
ントなど)。日本発祥のエコなスポーツです。

昨年、町制70周年記念事業として初めて実施し、今回
が2回目になります。

いざ競技が始まってみると側溝や植え込み、道端の
段差や電柱脇、雑草の影など様々な死角にごみが落ち
ていたようです。家族やグループで楽しみながら集め
たごみの総量は、34・20kgでした。

ご参加いただいた皆さまには、ごみ拾いも楽しんで
取り組むことが
できること、住
まいをきれいに
する大切さ、達
成感を改めて実
感していただく
きっかけになっ
たのではないか
と思っています。



みんなできれいにせんまいけ大作戦

今年度の「みんなできれいにせんまいけ大作戦」は、
6月から9月に全15市町村で実施され、3万4千人ほ
どの参加があった。

お陰で富山が本当にきれいになりました。ありがと
うございました。



5月26日 砺波市
砺波市民ごみゼロ運動



7月21日 朝日町
町民総ぐるみ清掃デー

編集後記

今回令和6年度の会報をお読みいただき有難うござ
います。会報の編集という大役を賜り、身が引き締まる
思いでございます。

さて、温暖化による気候変動が叫ばれて数十年が経
ち、今は様々な世代に私たちの環境への意識が根付い
ています。しかし、猛暑や豪雨など様々な自然災害が私
たちの生活に直撃し、意識だけでなく環境や防災への
新しい知識を積み上げていく時代へとシフトしている
と感じています。

また、昨年1月1日の地震からあつという間の一年
でした。こうしておけばよかった、どうすればよかった
のか等、様々な意見が地域であがり、色々なことが実行
されていると思います。実際に災害が起こった時や日
常生活の中での困ったこと等、住みよい環境づくりの
情報発信ができますよう、委員一同努力していきたい
と思います。皆様のご理解とご協力を、どうぞよろしく
お願いします。

(村上記)